



謹賀新年

貨物会社で働く組合員と家族の皆さん
新年あけましておめでとうございます。

昨年7月に行われた参議院議員選挙では、「改憲勢力」の三分の二議席確保を阻止しました。野党5党派と市民連合は、全国32の一人区で候補者を一本化し、一人区において、改選2議席から10議席に大きく躍進し、憲法改正を重要な争点として訴えた安倍首相の路線は、立憲野党と市民の共闘により否定されました。しかし安倍首相は、総裁任期中での憲法改正の意向を改めて表明し、臨時国会終了後の記者会見では、2021年9月までの自民党総裁任期中の改憲の実現に強い執念を示しています。

安倍政権の悪政の下で、社会の格差と貧困は拡大し、この閉塞状態に多くの人は不安を募らせています。共謀罪や特定機密保護法、「戦争法」等の違憲立法や、辺野古基地建設、オスプレー配備の強行など、憲法をないがしろにする悪政や「老後は公的年金の他に200万円が必要」とする金融審議会報告書に示されるように、老後の生活が成り立たないことは明らかになっています。

「桜を見る会」に示される政治の私物化問題など、自らの疑惑に襟を正せない首相に憲法改正を語る資格はありません。今こそ、平和を希求し国民の安心・安全を最優先に、「憲法改悪に反対する全ての勢力と連携した闘いに全力を挙げなくてはなりません。」

貨物会社の2019年度中間決算は、中間期としては過去最高の経常利益を確保し、鉄道事業部門の黒字化も初めて達成しています。こうした順調な経営が続く背景には、JR各社最低の低額支給が続く期末手当をはじめ、「18年連続ベアゼロ」など、相次ぐ社員犠牲を中心とした人件費抑制の経営判断が貫かれていることは社員全体が認識を一致するものとなっています。「鉄道事業部門の黒字化」の達成など、経営課題を最優先に、社員には厳しさが押し付けられ、一向に改善しない生活や労働条件から、現状への不満が蓄積し、将来展望が見通せない中で、貨物会社を離れていく社員は後を絶ちません。今こそ社員が仕事に誇りと遣り甲斐を持ち、健康で安心して働き続けられる労働条件の確立が求められています。

分割・民営化から32年、地域分割・機能分割のJR体制は事実上破綻しています。今改めて、貨物会社が発足から抱える構造矛盾を再度検証し、JR発足後最高益を計上しても賃金・手当をはじめ厳しい生活が改善されないのか明らかにする宣伝と学習の継続が重要となっています。

組織の「強化・拡大」は私たちの喫緊の課題であり、要求前進に向けた最大の力となります。国労要求の実現に向けて、引き続き全国の職場から運動を強化し、切実な要求を実現させる決意を新たにしなければなりません。

全国貨物協議会もその先頭で奮闘することを決意し、今年も皆様にとってより良い年なることを祈念し新春の挨拶とします。

**つくろっ職場に労働運動を！
ひろげよう闘いを！
職場に、地域に、全国に！**

本年もよろしくお願いいたします。

—— 各エリア役員体制 ——

北海道貨物協議会
議 長 高岸栄太郎
副議長 佐々木敏則
事務長 千葉 克己

関東貨物協議会
議 長 真田 敏幸
副議長 小泉 堅一
副議長 寺嶋 浩昭
副議長 斎藤 郁夫
副議長 和田 政範
副議長 大野 泰誠
事務長 中村

関西貨物協議会
議 長 野々村利英
副議長 熊野 孝人
副議長 大森 忠
副議長 佐藤 英和
副議長 奥尾 秀之
事務長 工藤 隆志
事務次長 國松 重浩

東北貨物協議会
議 長 高橋 毅
副議長 石戸谷 満
副議長 天野 一志
事務長 木元 敏彰

東海貨物協議会
議 長 鈴木 和巳
副議長 大金 健治
副議長 小川 敏広
事務長 加藤 広明

九州貨物協議会
議 長 下川 一男
副議長 幸村 重克
副議長 西尾 豊
事務長 榊 正明



全国貨物協議会
議 長 星野 高志
副議長 真田 敏幸
副議長 鈴木 郁夫
事務長 因泥 一志
事務次長 工藤 隆志

組織拡大を実現させよう!!